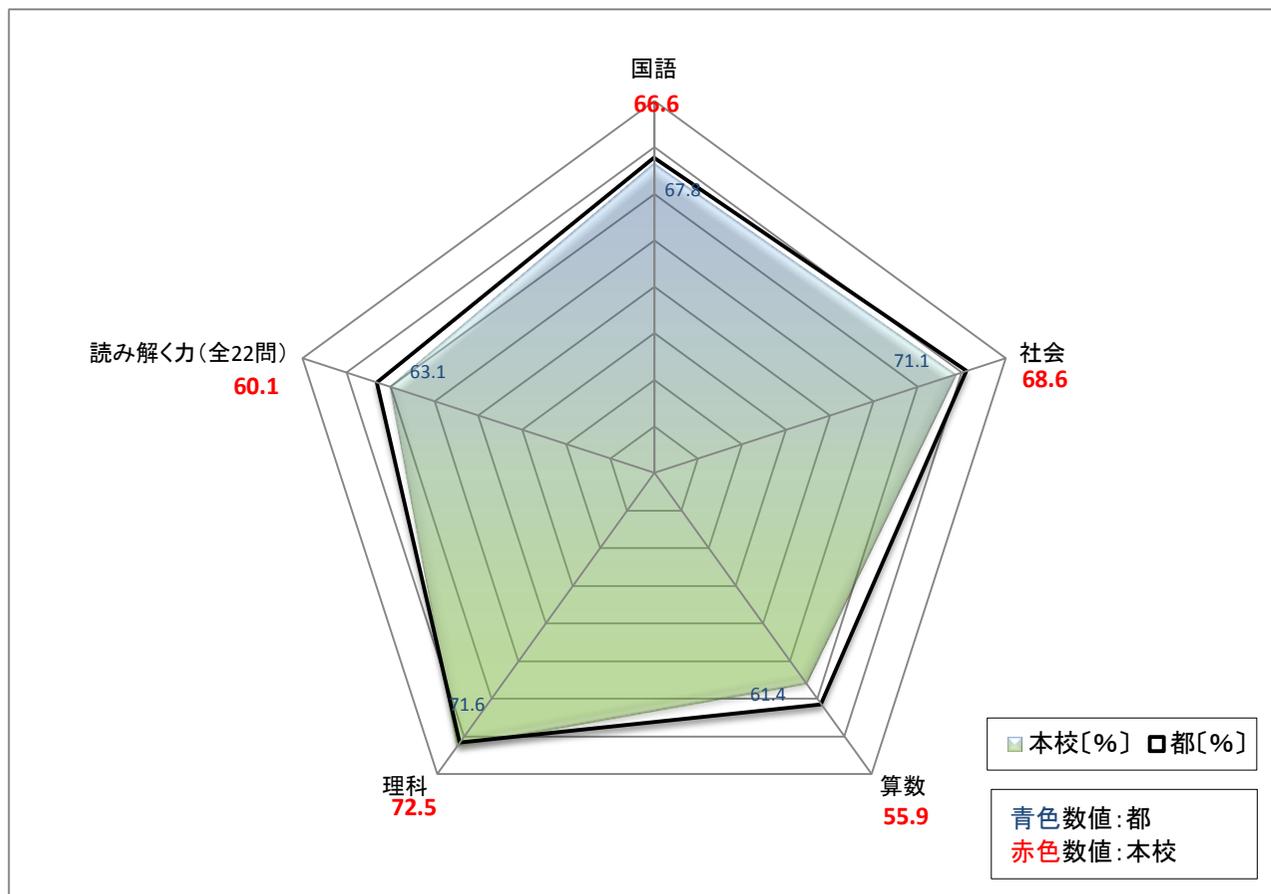


平成29年度児童・生徒の学力向上を図るための調査結果による「確かな学力向上推進プラン」策定のための課題分析表（小学校）

第四葛西小学校

《学力調査結果チャート》※本校と都の平均正答率の比較



《現状把握》

- ・国語1.2%、社会2.5%、算数5.5%、読み解く力3%、いずれも都平均を下回った。国語では読み解く力、社会では知識・理解、算数では思考・判断が特に大きく都の平均を下回った。
- ・理科は0.9%都平均を上回った。
- ・読み解く力に関する内容においても、国語3問、社会7問、算数6問、理科6問の内訳であったが、理科以外の3教科は都の平均正答率を下回った。

《授業改善のポイント》(推進プランは別紙)

- 【国語】読み解く力の中でも、特に取り出す力が平均を大きく下回っていたため、読み取りの学習では文中から根拠を見つけられるよう声かけをしていく。
- 【社会】単なる暗記とならないように、経緯や理由についても触れ、それらと結び付けて理解できるようにしていく。
- 【算数】文章題については、図や表などを活用して、問題を整理する手立てを身に付けられるようにしていく。
- 【理科】児童が自ら問題を導き出せるような事象を提示したり声かけをしたりしていく。また、観察や実験の結果も、問題や仮説に照らし合わせて考えられるように指導していく。

《チャートの特徴》

- ・都平均とほぼ同じ形を描いている。
- ・算数が他教科に比べて学力が低い。
- ・理科は都の平均を上回った。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・学校だより等で、家庭学習の習慣の形成について理解と協力を求める。日々の宿題も家庭と連携して児童に声かけをしていく。
- ・保護者会においては、5年生全体としての傾向を、個人面談においては個々の傾向を伝えていく。